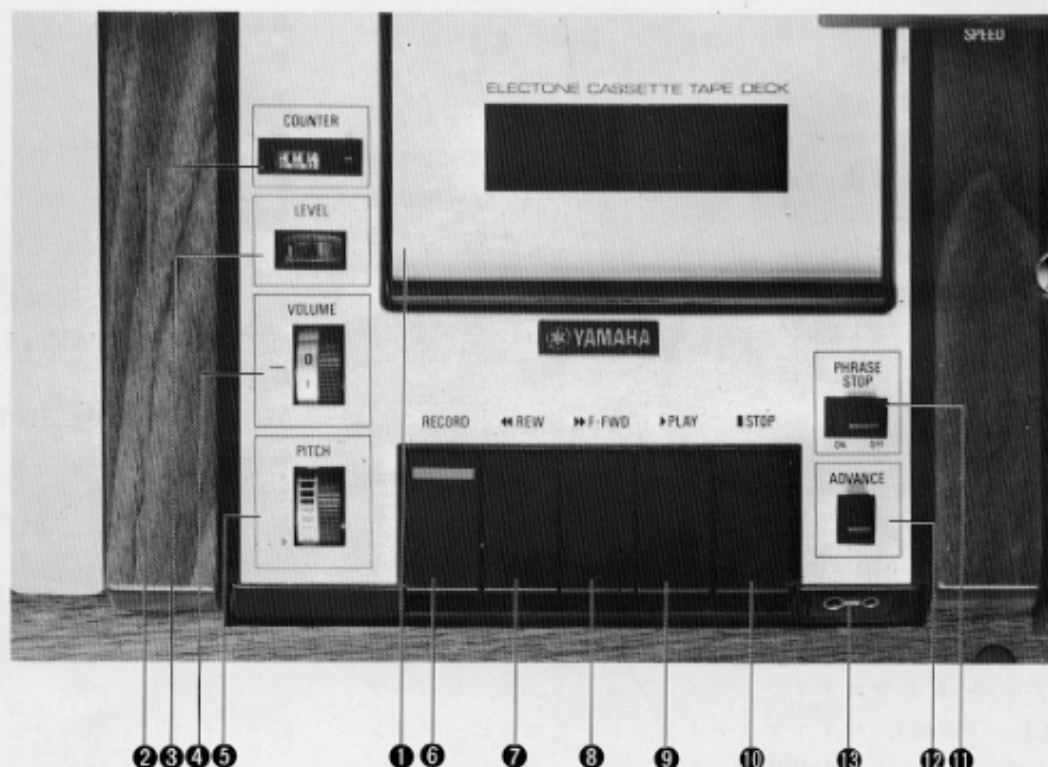


【カセット テープデッキ EC-500】

カセットについて

ヤマハエレクトーンには、どの機種にもカセットテープデッキEC-500(別売)を内蔵することができます。

このカセットテープデッキは、ヤマハが特にエレクトーン組み込み用として開発したもので、テープとエレクトーンのピッチが合わせられるピッチコントロール、学習用テープに連動するフレーズストップなど、いろいろな工夫がなされています。



マイナス・ワンテープとの共演

メロディの入っていないテープに合わせて演奏すれば、オーケストラ伴奏つきになり、ステージで演奏しているような気分になります。

練習用に

フレーズストップのついた学習用テープなどで繰り返し練習することができます。

また、教室で先生の演奏を録音しておけば、自宅で「個人レッスン」もできます。

効果音つきの演奏に

あらかじめ波の音や鳥の声などを所要所に入れたテープを利用するとムードたっぷりの演奏ができます。

自分の演奏を録音して

自分やお知り合いの演奏を録音しておけば、いろいろ参考になる点も多く、またバックミュージックとして鑑賞するのも楽しいものです。

普通のカセットデッキとして

テレビやラジオ、レコードからの直接録音や語学レッスンなど、普通の単体カセットデッキのような使い方もできます。

このような楽しみ方のほか、工夫次第でエレクトーンの世界を2倍にも3倍にも広げることができるでしょう。

お楽しみ用、学習用テープも豊富にとりそろえております。

- ① カセットホルダー
- ② カウンターおよびリセットボタン(COUNTER)
- ③ レベル・メーター(LEVEL)
- ④ 録音・再生ボリューム(VOLUME)
- ⑤ ピッチコントロール(PITCH)
- ⑥ 録音ボタン(RECORD)
- ⑦ 巻き戻しボタン(◀◀REW)
- ⑧ 早送りボタン(▶▶F-FWD)
- ⑨ プレイ・ボタン(▶PLAY)
- ⑩ ストップ・ボタン(■STOP)
- ⑪ フレーズストップスイッチ(PHRASE STOP)
- ⑫ アドバンス・ボタン(ADVANCE)
- ⑬ マイク及びリモートジャック(MIC)

各部の名称

①カセットホルダー

カセットテープを装着する部分です。フタは手であけて下さい。

②カウンターおよびリセットボタン(COUNTER)

テープの走行にしたがって数字が増していきます。録音を開始する時にリセットボタンを押して数字を(000)にしておき、録音内容別に数字をメモしておくことで再生のときに便利です。

③レベル・メーター(LEVEL)

録音入力レベルおよび再生出力レベルを表示します。

④録音・再生ボリューム(VOLUME)

⑤ピッチコントロール(PITCH)

テープ速度を速くしたり遅くしたりするボリュームで、上下におよそ半音ずつの範囲をコントロールできます。

⑥録音ボタン(RECORD)

録音レベルをセットする時、および録音するときに押すボタンです。録音する場合は、このボタンとプレイ・ボタン(▶PLAY)を同時に押して下さい。

⑦巻き戻しボタン(◀◀REW)

テープを右から左へ巻き戻しするボタンです。このボタンはオートストップがきかないので、解除する時はSTOPボタンを押します。

⑧早送りボタン(▶▶F-FWD)

テープを左から右へ早送りするボタンです。テープの途中から演奏したいときに便利です。ボタンを押している間のみ作動し、離すと停止します。

⑨プレイ・ボタン(▶PLAY)

再生、または録音する場合の正常送りボタンです。このボタンを押すと、テープは左から右へ定速で送られます。

⑩ストップ・ボタン(■STOP)

デッキのすべてのメカニズムが停止し、各操作ボタンも元の位置に復元します。

⑪フレーズストップ・スイッチ(PHRASE STOP)

このスイッチを左の位置ONにすると、教材用テープに入っている特定信号音によりテープは自動的に一時停止します。

⑫アドバンス・ボタン(ADVANCE)

フレーズストップで一時停止したテープ走行をもとに戻してPLAY状態にするボタンです。



⑬マイク及びリモートジャック(MIC)

付属のマイクロフォンを使用する時に、このジャックに差しこみます。この場合付属のマイクロフォンはリモートコントロール付ですのでリモートジャックにも同時に差しこんで使用します。

⑭電源スイッチ

電源スイッチはエレクトーンの電源スイッチと共通となっています。

取り扱い上のご注意

○各操作ボタンを押したまま長時間放置せず、ご使用後は必ずストップボタンを押して下さい。

○プレイ中に早送りボタン(▶▶)や巻き戻しボタン(◀◀)に切りかえないで、必ずストップボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

○テープは必ずSTOPの状態を着脱してください。

○電源やテープの入っていない時は各操作ボタンを押さないでください。

○ミュージックテープの場合は録音ボタンを押せないのでも無理に押しこまないでください。

○テープのケースが変形しているものや精度の悪いテープ、早送りのとき異音を発するテープなどは使用しないでください。

○ご使用いただける標準テープはC-60タイプです。C-120タイプは非常に薄いので、音楽などの反復練習用として適していません。

○クロームテープ等超高性能テープを使用してもその特性を生かしきれませんのでご注意ください。

再生を始める前に

再生をする場合は、つぎの手順で行なってください。

- ①カセットテープをホルダーにセットします。
- ②プレイボタン(▶PLAY)を押し、テープを走行させます。
- ③ボリュームをまわして、出力レベルをコントロールします。
- ④テープが右側へ全部巻きとられて片面の再生が終了しますと、オートストップ機構によりモーターがストップし、全メカニズムが停止します。続けて裏面の再生を行なうときはカセットホルダーのふたを開けてテープを取り出し、テープの裏面を上にしてホルダーにセットします。

●早送り、巻き戻し

テープの途中から再生したいときは、早送りボタン(▶▶

F-FWD)を押してください。テープは右側へ高速で巻きとられます。この場合、それぞれの開始点がカウンターの数字で記録されていれば、再生したい箇所がカウンターによりすぐわかりますので、たいへん便利です。

ボタンをはなすとその瞬間に停止します。片面の再生が終了し、もう一回同じ面を再生するとき、また同じ曲を何回もくり返したいときは、巻き戻しボタン(◀◀REW)を押してください。テープは左側へ高速で巻きとられます。巻き戻しを中止したり、テープエンドまできましたらかならずSTOPボタンを押してください。

※ご注意

再生音のコントロールはカセットのボリュームつまみのみ働きます。エレクトーンのEXPペダルやトータルボリュームは関係しません。

録音を始める前に

録音をする場合は、つぎの手順で行なってください。

- ①カセットテープをホルダーにセットします。
- ②録音ボタン(RECORD)を押して録音レベルの調整をします。実際にエレクトーンの音を出してみても最大音でレベルメーターの針が黒と赤の境(図のような位置)にくるくらい

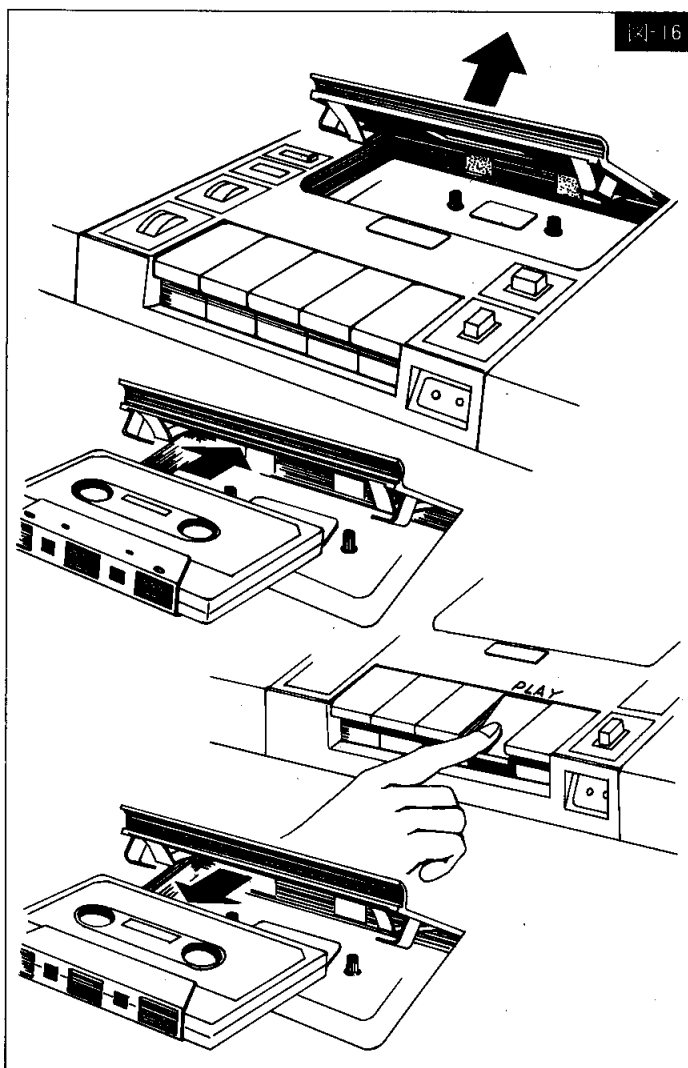


図-16

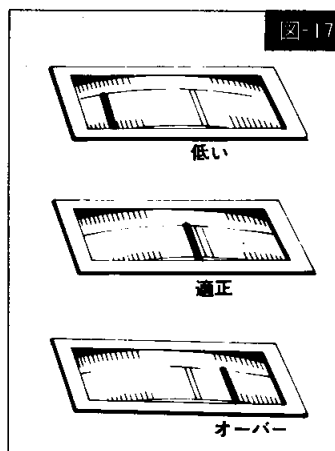


図-17

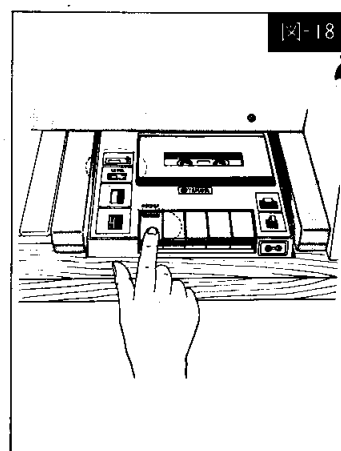


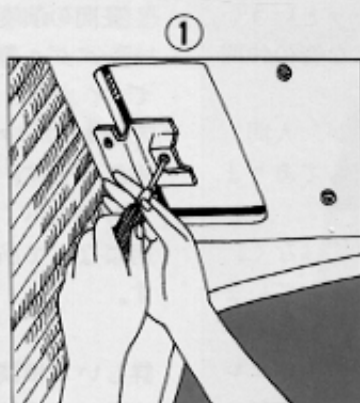
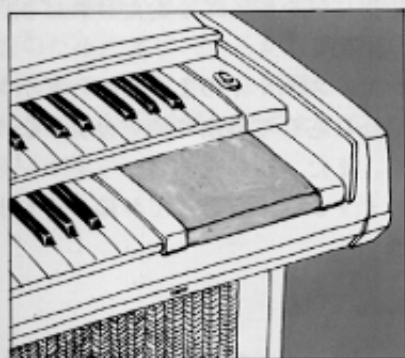
図-18

にボリュームで調整します。また録音の場合は、エレクトーンのエクスプレッションペダルとトータルボリュームもレベルに影響してきますから特にトータルボリュームはレベル調整の前にセットしてむやみに動かさないようにします。

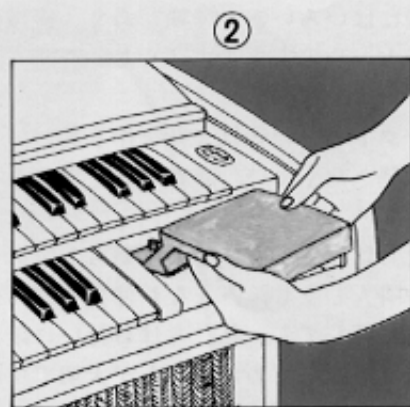
※ご注意

録音時にはピッチコントロールは働きませんのでご注意ください。なお、詳しい取り扱い法はカセットデッキ用の取り扱い説明書をご参照ください。

図-19 カセットデッキの取り付け方



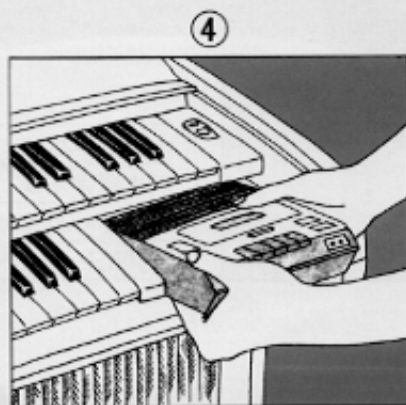
エレクトーン(下側)に付いている
ネジ3本をはずします。
⊕又は⊖のドライバーもしくは、
コインなどでも簡単にはずすこと
ができます。



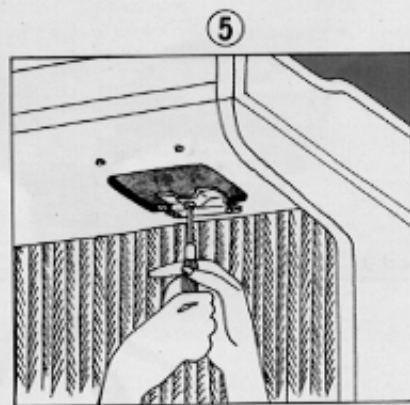
フタがはずれます。



カセットデッキのジャック2ヶ所
(電源、エレクトーン端子)に各プ
ラグ(電源、EXT-INプラグ)を差
し込みます。



カセットデッキをエレクトーンに
組み込みます。



エレクトーン(下側)からネジ3本
を締めて下さい。

〔防音について〕

音のエチケット

私たちの日常生活と音は切っても切れない関係にあります。音にはいろいろな種類があり、機械のガーッといういやな音も、心の安まるすばらしい音楽も、みんな音の仲間です。

エレクトーンの音は音楽を作る美しい音ですが、人間、音楽も聴きたくない、静かな日を求めることだってあります。

私たちはぼつんとひとりで暮らしているわけではなく、家族や隣人どうし、みんなが仲良く助け合って生きています。音に関しても、私たちはお互いに譲り合い、やさしい心づかいを示してあげることが大切です。家の中でエレクトーンを弾くと、その音は窓やドアのすき間から空気と一緒に洩れていったり、また開口部をすべてふさいでも、団地やアパートでは壁や床を伝って他の部屋に響いたりすることがあります。

美しい音楽を愛されると同時に、このような音の性質をご一考の上、住み良い環境をご自身の手で守っていただけ

ますよう、皆さまのご協力をぜひお願いいたします。

ヘッドホンをご利用ください

昼間の演奏には、トータルボリューム・エクスプレッションペダル等のご使用に気を配っていただければさいわいです。

なおエレクトーンは、ステレオのようにヘッドホンが使用できます。時と場合にに応じて自由に使い分け、心ゆくでお楽しみください。また、特に夜間はヘッドホンをご利用になって演奏されますよう、合わせてお願い申し上げます。

詳しいご相談は

ヤマハでは、防音に関するご参考資料を用意しております。ご希望の方は、日本楽器支店技術係までご請求ください。具体的なご相談もお受けいたしておりますので、お気軽にお問い合わせください。

アフターサービスの依頼(40ページ)にあります、日本楽器各支店の技術係へお問合わせ下さい。



【エレクトーン専用 ヘッドホン】

ヤマハが特に電子楽器専用に開発したヘッドホンです。

●総重量とイヤー・パッドの押圧力は非常に軽量になっており、金属部分が全くないため、ヘッドホン特有の圧迫感が少なく、軽やかな装着感です。 ●エレクトーンの音は持続音のため、スピーカーから出る音と同じ音質をヘッドホンから得ることは非常に困難でしたが、これは電子楽器専用に作られたヘッドホンですから、美しいクリアな音質が得られます。



(モノラル)

静かさへの思いやりを

電子楽器専用

オルソダイナミックヘッドホン

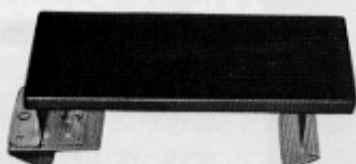
HP-50——4,500円

●お子様用の付属品です

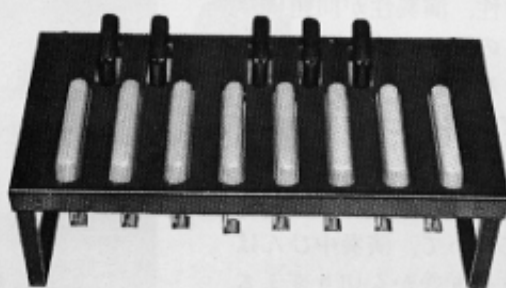
下記の付属品はエレクトーンの付属品として楽器店にて販売致しております。

エレクトーン各機種に共通でご利用いただけますのでご利用ください。

エクスプレッション補助ペダル



ペダル鍵盤補助ペダル



【シンセサイザーの ご紹介】

さらに加わる多彩な音色

お手持ちのエレクトーンに、ヤマハ・ソロ・シンセサイザーSY-1を接続しますと、多彩なエレクトーンの音色に、さらにシンセサイザーの新しい音の世界が広がります。

このSY-1は、たくさんのプリセットされた楽器音と多彩なコントロール機能、そして鍵盤…この3つの部分からできています。エレクトーンだけでなく、ギターアンプ、ステレオにも接続できます。

なお、エレクトーンとの接続は39ページにご説明したEXP-INジャックでつないで下さい。

¥200,000



音を自由に創れば、創れるほどその操作性、演奏性が問題になります。このSY-1は、そうした点にも大きな配慮を重ねました。

たとえば、あらかじめ、音のエンベロープ、倍音の含まれ方や、ビブラートのかけ方などを自分の好みで変えておいて、演奏中ひんぱんにプリセット音から切り変える



こともできます。曲の途中でガラリと表情を変化させたいときなど、非常に効果を上げることができます。

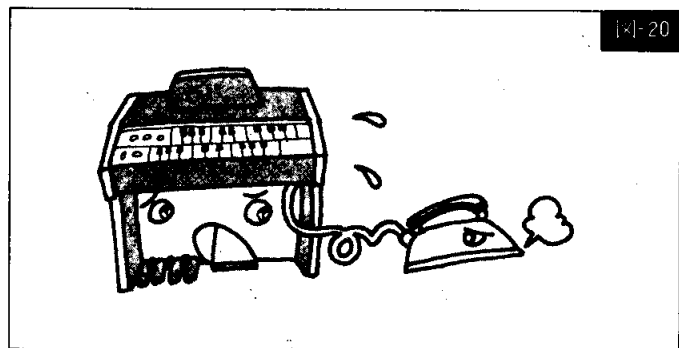
フルート、ハープシコードをはじめ木管、金管など各種の楽器、そしてファニー、パルサーといった21世紀的サウンド…これからの音色がプリセットレバーの操作で瞬時に生まれてくるのです。

(エレクトーンの 扱い方)

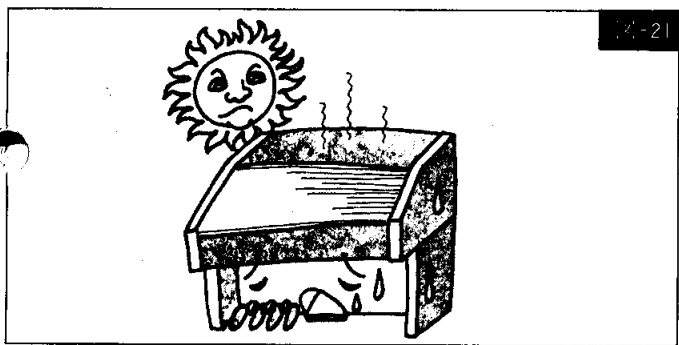
1. 取り扱い上のご注意

一般にはピアノやオルガンと同じ取り扱いをしていただければ問題ありませんが、特に次の点にご注意ください。

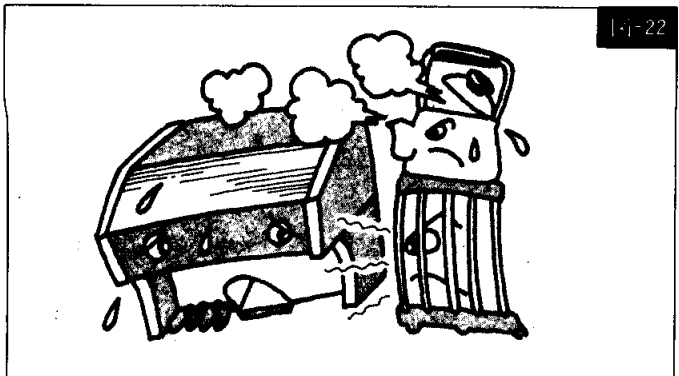
- 使用後は電源スイッチを必ず切ってください。
- ヘッドホンジャックの奥にある棚板のACコンセント(許容電力20W)には、絶対にアイロンや電気コタツなど、電力消費量の大きい電気器具を差し込まないでください。万一し込みますと、エレクトーン内部のヒューズが飛び、故障の原因となります。



- 直射日光はさけましょう。

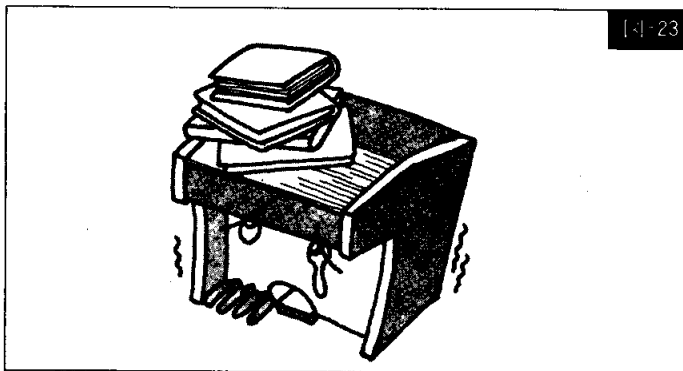


- 湿気、熱もさけましょう。



- 外装の塗剤はビニールと化学反応をおこしますので、ビニール製カバーはご使用にならないでください。

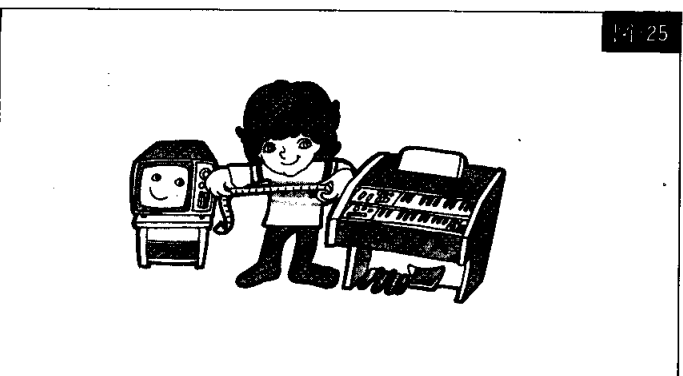
- 蓋の上に重い物をのせないでください。



- 蓋を上を持ち上げないでください。
- 鍵盤のお手入れは、中性洗剤を水でうすめて柔らかい布に浸し、よく絞ってきれいにふきとってください。アルコールやシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対ご使用にならないでください。



- テレビやラジオをエレクトーンに近接してご使用の時、テレビやラジオに雑音が入る等影響を及ぼす場合があります。この様な場合は、エレクトーンから1m位離してご使用ください。(エレクトーンに電気が入ってない時は影響しません)



2. 椅子の組み立て方 (CK-30のみ)

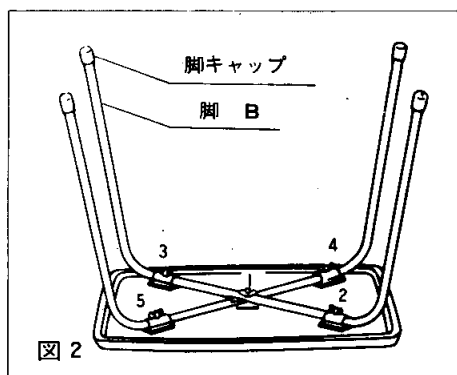
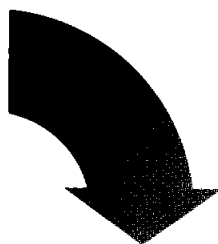
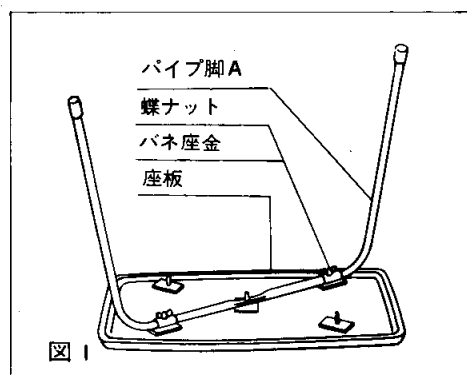


図-26

1: 座板を裏返し蝶ナットを戻してバネ座板と共に外してください。

2: パイプ脚2本のうち、図1に示した脚A(中央にボルトのある脚)を座板のボルトに合わせてはめ込んでください。

なお、脚と座板には図のように刻印(0と1)が各々に打ってありますので0と0、1と1というように、脚と座板の刻印を必ず合わせて組み立てるようにしてください。

3: 両端2ヶ所のボルトにバネ座金を通し蝶ナットによって脚を締め付けてください。

4: 他の1本の脚(脚B)を図2に示したように両端のボルトに合わせてはめ込んでください。

5: 両端のボルトにバネ座金を通し蝶ナットによって脚を締め付けてください。

6: 図2に示した順序によって、もう一度蝶ナットをしっかりと締め付けてください。

組立時のご注意

バネ座金は必ず蝶ナットの下にください。パイプの下側に入れますと、組み上がった状態でも不安定ですし、またボルトが折れる原因にもなります。

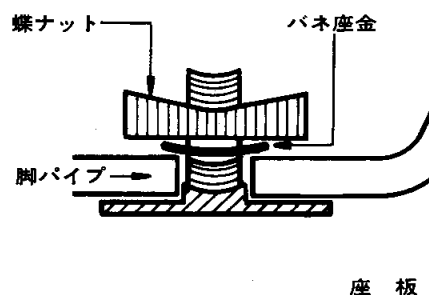
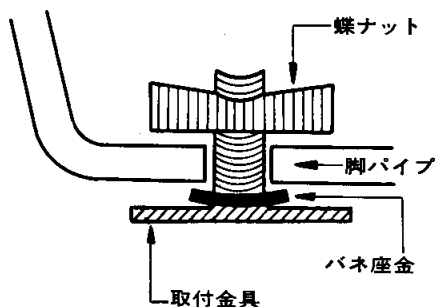


図 27

3. 付属端子

AUX-IN (ライン入力) 端子

エレクトーンに向かって右側棚板下にあります。レコードやテープの曲をエレクトーンから出し、これに合わせて競演を楽しむことができます。

電気的特性

- 入力インピーダンス……約100k Ω
- 入力電圧(最大)……400mV

JX-OUT (ライン出力) 端子

AUX-IN端子と隣り合った端子がAUX-OUTです。接続をお間違えないようにご注意ください。

テープレコーダーに録音したり、他のアンプに接続する場合に使用します。

電気的特性

- 出力インピーダンス……約600 Ω
- 出力電圧(最大)……500mV

EXP-IN (EXP連動入力) 端子

リズムボックス、シンセサイザーなどを接続しますと、エレクトーンのEXPペダルで音量変化が得られながら演奏できます。

電気的特性

- 入力インピーダンス……約100k Ω
- 入力電圧(最大)……775mV (0dBm)

再生及び録音時のご注意

接続して使用するテープレコーダーやプレイヤーなどの

種類により、再生音量に差があります。

テープやレコードと同時演奏される場合、入力オーバーで音が歪むことがあります。このような時には、各々のボリュームを絞って、歪まないようにしてお使いください。

ピンプラグは弊社支店、または販売店でお求めください。うまく録音再生できない場合は、お買上げ頂いたお店にご相談ください。

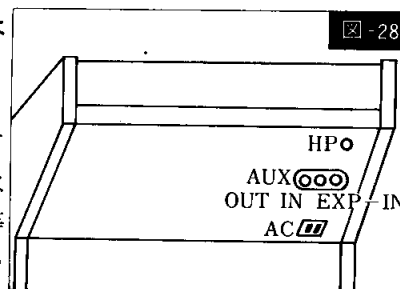
棚板のACコンセントはエレクトーン用カセットデッキ専用です。

棚板右下に付加されているACコンセントにはアイロン、電気コタツ等の電気製品を接続しないでください。

もし誤って差し込まれた場合にはエレクトーン内部のヒューズが切れ、エレクトーンの原因となります。

またエレクトーンのパワースイッチを切るとコンセントの電源も連動して切れます。

トーンキャビネットコネクター トーンキャビネットを接続するコネクターで、裏板の下側に付いています。



【アフターサービス】

サービス依頼をなさる前に

(42, 43ページをご覧ください)

- 1 コンセントに電気が来ているかどうか、電気製品を接続してお確かめ下さい。
- 2 ご依頼いただいたサービスにお伺いした際、故障でないような場合でも、点検代と出張経費などの実費をいただきます。

お名前、お住まいはハッキリと

- 1 サービスをご依頼下さる時、お名前、お住まいはハッキリとお知らせ下さい。特に、アパートの名前や〇〇の方の方書きまで詳しくお教え下さい。また、お訪ねする際の目標物もあわせてお知らせ願います。
- 2 こちらからお客様にご連絡をさしあげることもありますので、連絡方法もお知らせ下さい。たとえば、電話番号(呼出、お勤め先含む)などです。

エレクトーンの様子は詳しくお知らせください

- 1 できれば実際にエレクトーンをお弾きになっていらっしゃる方に様子をお聞かせ願えれば、あらかじめ用意する部品などの見当がつき、スムーズにいきます。
- 2 時々調子のおかしくなるような場合には、お手数でもその状態をできるだけ詳しくお知らせ下さい。たとえば、
●夜だけ音が小さい ●ある時間だけ雑音が出る ●エレクトーンの音を出さなくても、スイッチを入れるだけで雑音が出る などの場合です。
- 3 エレクトーンの種類など、サービスご依頼のエレクトーンに関する詳細は、保証書をご覧になってお知らせ下さい。使用部品が製造時期やモデルによって異なる事もありますので、早く確実にサービスさせていただくために是非お願いいたします。

サービスのお約束について

- 1 お仕事の関係で、昼間ご不在のお客様や留守がちなお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきます。
- 2 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡下さい。
- 3 お店にサービス依頼をされたにもかかわらず、日時経過してもなおサービス員がお伺いしない場合は、お手数でも下記にご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

ヤマハのサービス網

- 本 社 浜松市中沢町10-1 電音サービス課エレクトーン技術 ☎(0534)61-1111
- 東京支店 東京都中央区銀座7-9-18パールビル内・エレクトーン技術 ☎(03)572-3111
- 大阪支店 大阪府吹田市新芦屋下1-16・エレクトーン技術 ☎(06)877-5151
- 名古屋支店 名古屋市中区錦1-18-28・エレクトーン技術 ☎(052)201-5141
- 九州支店 福岡市博多区博多駅前2-11-4・エレクトーン技術 ☎(092)472-2151
- 北海道支店 札幌市中央区南10条西1丁目・エレクトーン技術 ☎(011)512-6111
- 仙台支店 仙台市1番町2-6-5・エレクトーン技術 ☎(0222)27-8511
- 広島支店 広島市紙屋町1-1-18・エレクトーン技術 ☎(08287)4-3787
- 浜松支店 浜松市鍛冶町122 エレクトーン技術 ☎(0534)54-4111

保証

エレクトーンへの保証は、保証書によりご購入から満1カ年です。

ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。

また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

保証書

エレクトーンへの納入調整サービスの際、納入調整者が保証書内へ必要事項記入のうえ、お客さまにお渡し申し上げます。

保証書をお受取りの時は、お客さまのご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。

無記名の場合は無効になりますのでくれぐれもご注意ください。

保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がエレクトーンをご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向

1カ年間の無償サービスをお約束申しあげますが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。

万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮の上で保管してください。(エレクトーンのイスの裏にあります保証書ホルダーをご利用ください)

また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別やサービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

納入調整サービス

エレクトーンをお納めさせていただきますと、販売店からエレクトーンのご説明かたがたお納めしたエレクトーンの調子を最良状態にするよう点検調整にお伺い致します。

お求めのエレクトーンについてご不明の点およびお聞きになりたい点がございましたらその節にお願い申し上げます。

アフターサービス

1 保証期間中に万一故障が発生した場合にはヤマハ特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いします。

2 この保証書は、サービスにお伺いした時に今後の製品改良の貴重な資料とするため技術者がお預りさせていただきます。

お預りした保証書は、弊社支店に送られ、記録した後に各支店から直接お客さまにご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますがご心配なくお待ちくださるようお願い申し上げます。

3 お買上げ楽器店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ楽器店あるいは弊社支店

にご連絡ください。移転先における

サービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。

保証期間以後の移転の場合も保証期間中と同様にご連絡いただきましたら、移転先の楽器店をご紹介いたします。

YAMAHA ELECTONE 保証書 MODEL CK-30

このたびは、ヤマハエレクトーンをお買上げ頂きましてありがとうございます。このエレクトーンは厳重な検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による自然故障の際は無償にてご調整申し上げます。

お買上げ日	昭和 年 月 日
保証期間	1カ年間

【保証書のご使用方法】

1. この保証書は保証期間内に故障の際は、本廠をサービスの第一とさせていただきます。

2. この保証書は、サービスにお伺いした時に、今後の製品改良の貴重な資料とするため、技術者がお預り致します。

3. お預りした保証書は、日本楽器製造株式会社に送られ、記録した後に各支店から直接お客さまにご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますがご心配なくお待ちくださるようお願い申し上げます。

日本楽器製造株式会社

お名前: _____

お住所: _____

販売店名: _____

お買上げ月日: _____

これらの現象は 故障ではありません

下記のような、故障でない現象でサービスを依頼された場合には、保証期間中であっても実費料金をいただきます。

現象	原因	解決法
スイッチを入れた瞬間、ボンと音がする	メインアンプ内部に電気が流れたため	エレクトーンが作動する証拠です。ご心配入りません。
ペダル鍵盤は同時に2音を押しても1音しか出ない	ペダルサステインをかけたときに、前の音を後の音がまぎってきかない音にならないよう、後の音を押した瞬間に前の音が消えるしくみになっています。	同時に2音を押すと高音の方のみ音が出ます(高音優先)。
音が割れる(共鳴する、あるいはビビる)	エレクトーンの音は持続音ですから、周囲の戸棚、窓ガラスその他の器物に共鳴することが多くあります。	①音量を小さくする ②共鳴物を取り除く
時々雑音が入る(ガリッとかポツンという雑音)	①家庭の電気冷蔵庫、洗濯機など電気器具の電源入、切り時 ②市街地のネオンサインの故障、電気ドリルなど	①原因と思われる機器からなるべく離れたコンセントを使う ②ネオンなどの故障を修理する ③原因不明あるいはご不審の点は日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。
ペダル鍵盤ではピッチが高く、上鍵盤高音部では低く感じる	特にピアノと比較した場合に感じますが、ピアノでは倍音構成が複雑で(特に高音、低音では)実音での調律ができず、倍音を聞いて調律しています。エレクトーンの場合は逆に実音で調律するので、ピアノとエレクトーンでは本質的に違うわけです。	
ラジオやテレビ等の電波が入るときがある	近くに大電力の放送局やアマチュアの無線局があるとき	どうしても気になる場合は、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。
電源を入れたまま振動やショックを与えると雑音が出る	内蔵のリバースレーション装置に柔らかいスプリングを使用しているので、振動が伝わるため	①使用中は、大きな振動やショックを与えないようにしてください。 ②エレクトーンはぐらつかないように設置してください。 ③移動する時は、電源スイッチを切るが、リバースレーバーを左に回してリバースがかからないようにしてから移動してください。
トーンレバーによって、鍵盤位置による音量のバラツキがある	一般に電子楽器では音色を変えるという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量バラツキをなくすことは非常に困難です。エレクトーンではどの音色でも演奏上問題のないように設計、調整されています。	音の強さや音色はエレクトーンの設置場所の状態や聞く位置などによって大きく異なることがあるので、どうしても気になる時はお求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。
16' 8' 4' 2 $\frac{1}{2}$ ' ぞれぞれのカブラーによって発音位置が異なる	実用上支障のない範囲に精密調整してあります。一般に多くの音栓を持つオルガン、パイプオルガン、エレクトーンでは同時発音しないのが実状です。	
上鍵盤16', 2 $\frac{1}{2}$ ', および下鍵盤のトーンレバーを入れて鍵盤を押すと、音が出るときにプツッ(ポツッ)という雑音が入る	音の信号を直接鍵盤の下にあるスイッチで入れ切りする時に発生するもので、クリックと呼ばれます。クリックは、スローテンポでムーディな曲では邪魔ですが、パンチのきいた曲では貴重なものです。	本質的にクリックはなくせませんが、ヤマハが開発した特殊スイッチにより、演奏上支障ない程度に防止してあります。さらに、8', 4'のアップーサステイン効果のタブレットを設けていますので、適宜ご使用ください。

現 象	原 因	解決法
ブリリアンス効果がフルート系(ウッド)の音でかかない	ブリリアンスは抵抗とコンデンサの組み合わせによって高域の倍音をカットするため、フルート系の音(フルート16', 8', 4', 2 $\frac{3}{4}$)のように倍音の少ない音やペダル鍵盤のように低い音にはかかりません。	ブリリアンス効果はストリングやオーボエ、ブラス等の倍音の多く含まれた音により強く作用します。
エレクトーンに鼠が入って故障を起こした場合	エレクトーンの内部に鼠が入り束線その他を切ったりするため	保証期間中でもサービス料金を頂きます。鼠の入るおそれのあるところは、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。実費にて防鼠処理をさせていただきます。
ヘッドホンで練習のとき、ブーンという電気の雑音(ハム)が気になる	本体のスピーカーで音を出している時はあまり気にならないのに、ヘッドホンを使って練習する際ブーンという電気のうなり雑音(ハム)が気になることがあります。	エレクトーン本体の電源プラグをコンセントへ逆にさしこんでみてください。
トレモロまたはコーラスを作動した時に作動音が出る	内部に組み込まれている回転スピーカーが作動して出る回転音です。	回転部分に精密仕上げを施し、演奏上には支障のない程度の大きさに抑えています。
ヘッドホンを使うとトレモロ効果がかからない	トレモロ効果は、スピーカーを回転させて音を“ふりまき”、独特の雰囲気を作り出すものですが、ヘッドホンを使った場合はスピーカーへの信号(楽器)が遮断されてしまうためにトレモロ効果のない音になります。	
トレモロまたはコーラスタブレットを入れてもトレモロ効果がかからない	トレモロ、コーラスタブレットは回転スピーカーの回る速度を決めるだけです。ボイスタブレットをONすることによってトレモロ用のスピーカーから音が出ます。	必ずボイスタブレットを一緒に入れてください。
リズムスタートスイッチ(シンクロスタート)をONにしてもリズムが働かない		フットスイッチOFFで曲を終わった場合は、必ず曲の弾き始めに使った“スタートスイッチ”または“シンクロスタートスイッチ”をOFFに戻してから次の曲に移ってください。
シングルフィンガーコードまたはフィンガードコードのボタンを入れてもオートベース/コードが作動しない	オートベース/コードは下鍵盤およびペダル鍵盤のトーンレバーがセットされていなければ音は出ません。また、オートリズムが作動していない時はリズムを刻まず持続音となります。	必ず下鍵盤、ペダル鍵盤のトーンレバーをセットしてください。また、リズム伴奏がしたいは必ずオートリズムをONしてください。
フィンガードコードでメモリーボタンを入れてもメモリーしない。	メモリーボタンを入れても、フィンガードコードではメモリーしません。メモリーボタンはシングルフィンガーコードのときにお使いください。またオートリズムが動いていない時も同様にメモリー機能は動きません。	
シングルフィンガーコードで下鍵盤の高い方を押さえても低い方を押さえても、音程が変わらない。	シングルフィンガーコードでは定められた1オクターブの中の音が出るようになっています。同じ音名であれば、下鍵盤のどの位置を押さえても同じ音程で和音が出ます。	

【ヤマハ エレクトーン教室の ご紹介】



お子さまに正しい音楽教育を、とお考えの方や、エレクトーンを自由自在に弾けるようになりたいという方のために、ヤマハではエレクトーン教室を全国に開設しております。ヤマハエレクトーン教室は、自宅や学校、またお勤め先のすぐ近くにあり、どの教室でも〈ヤマハ音楽教育システム〉のカリキュラムによる指導を行なっていますから、地区によって水準の異なるようなことはありません。

4才からの幼児音楽教育を行なう〈幼児科〉、小学生のための〈エレクトーンスクール〉、楽譜の読めない方もピアノ経験者も気軽に学べる〈エレクトーンメイトコース〉など、目的に応じて初心者から親切に指導しています。

音楽の芽は4才からです／幼児科

- 対象／4才～6才のお子さま
- 期間／2年間、週1回
- レッスン内容／1クラス10人のグルーブレッスン、楽しみながら音感が伸びていきます。

学校帰りに通ってください／エレクトーンスクール

- 対象／小学生
- 期間／2年間、週1回

- レッスン内容／1クラス5人以上のグルーブレッスン。エレクトーンの基礎的な弾き方がマスターできます。

子供のエレクトーンメイトコース

- 対象／幼児科またはエレクトーンスクールの修了生
- 期間／約2年、週1回
- レッスン内容／グルーブレッスン。

幼児科を修了されたお子さまに／ジュニア科

- 対象／幼児科修了生
- 期間／3年、週1回
- レッスン内容／1クラス10人のグルーブレッスン。総合的な音楽の力がつきます。

楽譜の読めない方でもお気軽に／エレクトーンメイトコース

- 対象／15才以上のどなたでも。
- 期間／3ヵ月～6ヵ月間のステップ毎に進みます。週1回
- レッスン内容／グルーブレッスン。半年もたてば両手両足を使って弾きこなせるようになります。

昼間の時間をご利用ください／お母さまコース

- 期間／2年、週1回
- レッスン内容／エレクトーンメイトコースと同じです。ご主人やお子さまを送り出した後の時間を活用しましょう。

(ヤマハステレオの ご紹介)



YAMAHA SYSTEM STEREO
IS-44
¥129,000

エレクトーンにも生かされた、ヤマハ独自のエレクトロニクス技術とピアノづくりで磨き上げられた木工技術。

そして何にも増して、80年の楽器づくりでつちかってきた〈音楽の心〉ヤマハステレオは、そのすべてを最高に生かして、トランジスターもスピーカーのコーン紙も、素材の一つ一つが、自社製品で構成されております。

耳に訴える美と、目に訴える美。その二つを追求した心に訴えるステレオ、それがヤマハステレオです。

YAMAHA SYSTEM STEREO
IS-22
¥109,000

YAMAHA SYSTEM STEREO
IS-66
¥159,000

ISシリーズ

サウンドとインテリアが見事に調和した、くらしの中にとけこむステレオです。特に、使いやすさを重視した設計でどなたにもお楽しみいただけます。(写真)

フロアステレオ

今までにない全く新しいタイプのステレオで、色はキャメリアホワイトとローズウッドの2色です。洋間にも和室にも、インテリアに合わせてお選び下さい。

システムコンポーネント

各オーディオ誌でも高く評価されているスピーカーやレシーバーなど、音楽性豊かな〈音の単品〉を組み合わせたシステムです。

エレクトーンを大切に。
いつまでもお楽しみください。

本社・工場／〒430 浜松市中沢町10-1
TEL 0534(61)1111

東京支店／〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
TEL 03(572)3111

銀座店／〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL 03(572)3111

渋谷店／〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7
TEL 03(463)4221

池袋店／〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL 03(981)5271

横浜店／〒220 横浜市区南幸2-15-13
TEL 045(311)1201

ジョイナス／〒220 横浜市区南幸1-5-1
ヤマハ店 TEL 045(311)6361~4

千葉店／〒280 千葉市中央4-2-1/まつだやビル内
TEL 0472(24)6111

大阪支店／〒564 吹田市新芦屋下1-16
TEL 06(877)5151

心斎橋店／〒542 大阪市区南区心斎橋筋2-39
TEL 06(211)8331

梅田店／〒530 大阪市区北区梅田町1/阪神百貨店5階
TEL 06(345)4731

神戸店／〒650 神戸市生田区元町通り2-188
TEL 078(321)1191

四国店／〒760 高松市丸亀町8-7
TEL 0878(51)7777

名古屋支店／〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL 052(201)5141

九州支店／〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL 092(472)2151

福岡店／〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL 092(721)7621

小倉店／〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1
TEL 093(531)4331

北海道支店／〒064 札幌市中央区南十条西一丁目/ヤマハセンター内
TEL 011(512)6111

仙台支店／〒980 仙台市1番町2-6-5
TEL 0222(27)8511

広島支店 〒730 広島市紙屋町1-1-18
TEL 0822(48)4511

浜松支店／〒430 浜松市鍛冶町122
TEL 0534(54)4111

海外支店／ロスアンゼルス・メキシコ・バンブルグ・
シンガポール・フィリピン

エレクトーン®は当社の登録商標です。



YAMAHA
日本楽器製造株式会社